

とちぎ夢大地応援団活動報告（11月8日実施）

那須烏山市国見地区

日本の棚田百選に認定されている那須烏山市国見地区のとちぎ夢大地応援団活動が11月8日、夢大地応援団員35名、地元自治会員21名のあわせて56名が参加して開かれ、棚田周辺の草刈りを行いました。

応援団員の内訳はボランティア団体・ナルク栃木の会員15名や宇都宮大学のボランティアサークルの学生4名、栃木県農政部職員11名などです。参加者は、開会式で大谷範夫那須烏山市長から歓迎のあいさつを受けたあと、約2時間にわたり棚田周辺の急傾斜地の草刈りなどに汗を流しました。

草刈り終了後は、地元の女性たちがつくったすいとん汁や特産のミカンが参加者にふるまわれました。その後、みんなで感想を述べ合ったり、記念撮影をして交流会を終えました。



特産のミカンの木を背に参加者全員で記念撮影



歓迎のあいさつをする大谷市長（左端）



棚田周辺の草刈りのようす



2時間におよぶ作業できれいになりました



昼食には特産のミカンとすいとん汁がふるまわれました



地元の人を前にボランティアの感想を述べる宇都宮大学生